



Title	「目が合う選挙ポスター」：仕掛けによる歩きスマホ抑制の試み
Author(s)	二川, 侑磨
Citation	大阪大学経済学. 2023, 72(4), p. 17
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/90771
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

【2022年度 学生懸賞論文受賞作 最優秀賞要旨】

「目が合う選挙ポスター」
～仕掛けによる歩きスマホ抑制の試み～

二川侑磨

スマートフォンの爆発的普及に伴い、歩きスマホという社会問題が発生している。歩きスマホの危険性を訴えかける啓発ポスターは街中で多く見られるが、そういったポスターには、歩きスマホをしている人がその存在に気付かないという大きな問題点が残る。そこで本稿では仕掛け学の観点から従来の啓発ポスターに残る問題の解消方法について検討した。具体的には、誰かに見られているような感覚を引き起こすことで人々の注意を引く仕掛け「目が合う選挙ポスター」を考案し、その仕掛けによって歩きス

マホ行為を抑制することを目指した。JR尼崎駅において仕掛けの実証実験を行い、その啓発効果を検証したところ、ロジスティック回帰分析と χ^2 乗検定の結果から「目が合う選挙ポスター」は従来の啓発ポスターと比較して誘目効果や歩きスマホ抑制効果が高いことが示唆された。しかし同時に、歩きスマホ中の通行人の注意を引く効果には差がないこと、仕掛けの効果は接触頻度にもなって低下する傾向にあることが示され、仕掛けの改善点や具体的な活用方法が明らかとなった。